

学年末PTAに寄せて

令和2年2月7日（金）
さくら市立押上小学校

1 PTA会長 岩崎 健治

時が経つのは早いもので今年度も終盤になりました。PTAについて勉強不足のままスタートした会長の役割も役員や理事に支えられ、ここまで続けて来られました。会員の皆様にもこれまで様々な場面で御協力をいただき感謝申し上げます。PTA活動テーマ「子どもたちの成長を見守り・支え・共有し合おう」が実行出来ていたか不安ですが、これからは判断に迷ったときテーマを思い出すよう心掛けたいと思っています。



〔令和元年度運動会〕

先日、来年度入学される保護者への説明会があり、役員数名と育成会代表で参加しました。その中に泣き始めてしまった乳児を抱えたお母さんがいました。困った顔をされていたところ在校生の保護者が代わりに抱っこし、寝入った乳児を他の保護者が見守り、皆で助け合う姿が見られました。その行動力と尊さに感嘆しつつ、PTAテーマを体現したような姿で嬉しく思いました。



〔ふれあいの里〕

話は変わりますが、来年度のPTA会則に一部改正を加える検討をしています。会員数減少に伴い前年度の改正で副会長と会計、委員の人数を減らしましたが、今後もPTAと各育成会との連携を円滑に行うために地区委員を加える予定です。役員が増えるのではなく、育成会役員の方でPTAからの連絡を受けてくださる方を指名いただくものです。理事会への出席などはごさいませんし、負担増とならないよう努めます。詳しくは4月のPTA総会の時に説明を致した上で、採択したいと思っています。

2 学校長 杉山 敏明

令和元年度も大きな行事としては卒業式を残すのみとなりました。保護者の皆様には常に学校の指導について御理解と御協力をいただき、温かく見守りながら職員を支えていただきましたことに心より感謝申し上げます。

今年度のPTA活動についても、「子どもたちの成長を見守り・支え・共有し合おう」というテーマのもと、PTA役員の皆様、各地区育成

会の皆様には、絶大なるお力添えをいただき、1年間御支援いただきましたこと、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

さて学校では現在、来年度の学校運営について学校評価を基に検討しています。皆様も御存知の通り、来年度から新学習指導要領の完全実施となります。外国語や道徳の教科化など一部はすでに先行実施しています。プログラミング教育など学習内容が増えるとともに、授業時数も増えることとなります。授業日数及び授業時数の確保が喫緊の課題となっています。

そこで、これまでの学校行事を含めた様々な活動や取組について、もう一度それらのねらいを確認しながら精選していくことが必要になっています。併せて働き方改革に伴う業務改善についても積極的に進めていかななくてはなりません。

現在検討中の主な内容は、下記の通りです。

- ① 金曜日の6校時の実施
今年度金曜日は5時間授業です。授業時数を確保するために、5・6年生で6時間授業を、夏休み前に数日行う予定です。
- ② 親子活動の見直し
各学年で行っています親子の体験活動です。これについても授業時数確保、活動のねらいの見直しにより廃止、または縮小する予定です。「親子のふれあい」というねらいは、「ふれあいの里」に移行できないか検討しています。
- ③ 夏休みのプール開放の廃止
本来夏休みのプール開放は教員の業務ではなく、まして子どもの命に関わる活動を教員に担わせることはできません。また、ここ数年の気候変動、学校に通う際の安全確保、プール維持費の削減への対応も迫られています。

これらの検討事項については、3月のPTA理事会で説明させていただきます。また、方向性など決まりましたら「学校だより」でお知らせいたします。御理解の程よろしく申し上げます。

コミュニティ・スクール

